

## 1 議 事 日 程

[令和8年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和8年2月26日

午前 11 時 29 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第22号 令和7年度太宰府市一般会計補正予算(第8号)について  
日程第2 議案第24号 令和8年度太宰府市一般会計予算について  
日程第3 議案第25号 令和8年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について  
日程第4 議案第26号 令和8年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について  
日程第5 議案第27号 令和8年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について  
日程第6 議案第28号 令和8年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について  
日程第7 議案第29号 令和8年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について  
日程第8 議案第30号 令和8年度太宰府市水道事業会計予算について  
日程第9 議案第31号 令和8年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである(18名)

委員長	神 武 綾 議員	副委員長	馬 場 礼 子 議員
委員	久 和 満 晴 議員	委員	岡 林 直 人 議員
”	原 紳 次 郎 議員	”	瀬 筒 義 久 議員
”	川 口 親 丸 議員	”	タ コ ス キ ッ ド 議員
”	今 泉 義 文 議員	”	笠 利 毅 議員
”	木 村 彰 人 議員	”	入 江 寿 議員
”	堺 剛 議員	”	原 田 久 美 子 議員
”	陶 山 良 尚 議員	”	長 谷 川 公 成 議員
”	門 田 直 樹 議員	”	小 畠 真 由 美 議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

な し

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名(16名)

市長	高 原 清	副市長	原 口 信 行
教育長	井 上 和 信	総務部長 (経営企画担当)	轟 貴 之
総務部理事 (市長室担当)	杉 山 知 大	総務部理事 (総務担当)	宮 崎 征 二
市民生活部長	友 添 浩 一	健康福祉部長	大 谷 賢 治
健康福祉部理事 (子ども担当)	添 田 朱 実	都市整備部長 (併公営企業担当)	伊 藤 健 一
観光経済部長	竹 崎 雄 一 郎	教育部長	添 田 邦 彦
教育部理事	平 野 善 浩	総務課長 併選挙管理委員会事務局長	鳥 飼 太
経営企画課長	宮 原 竜	監査委員事務局長	松 尾 誓 志

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	野 寄 正 博	議 事 課 長	花 田 敏 浩
書	記 三 舛 貴 市		

開会 午前11時29分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（神武 綾委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

今回、高原市長をはじめ三役にご出席いただいております。

ここで、高原市長のご挨拶をお受けしたいと思います。

○市長（高原 清） まずは皆様、先ほどの議会、どうもありがとうございました。私の施政方針、長々と聞いていただきまして、本当にありがたいと思っております。

今回の令和8年度当初予算でございますが、先ほど提案理由説明でも行いましたが、物価高騰が非常に厳しい、もちろん市民の皆様の生活も非常に厳しいものでございますが、これは市にとっても厳しい状況です。太宰府市もいろんな経費出ております。例えば委託費等にとっても委託費の中には人件費等もございます。全てそういった物価高騰に伴いまして、この委託費だけにかかわらず全ての経費がやはり影響が出ているような状況で、大変厳しい予算編成となっております。

その中で、担当者を含め、いろいろ頭をひねりながら、一番は、やはり市民生活、安全安心な市民生活が維持できるようにとこのところを一番に重点を置いて、そして予算編成をさせていただきました。

何かと議員の皆様から見られましたら不足する点もあるかと思いますが、何とぞ慎重なご審議いただきますように、そしてご賛同いただければと思いますので、どうぞよろしく願いをいたします。

○委員長（神武 綾委員） ありがとうございます。

本日の予算特別委員会は、日程第2、議案第24号から日程第9、議案第31号の概要説明を受けるのみとし、審査は3月16日月曜日午前10時から及び17日火曜日午後2時から行います。日程第1、議案第22号の審査は、3月6日金曜日午後1時から行います。

それでは、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第24号 令和8年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 日程第2、議案第24号「令和8年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（経営企画担当）（轟 貴之） 議案第24号「令和8年度太宰府市一般会計予算」につきまして、お手元にお配りしております、こちら当初予算説明資料に沿って説明をさせていただきます。

それではまず、1ページをお開きください。ここに予算総括表として、会計別の当初予算額と、下段に平成29年度から10年間の当初予算額の推移をグラフとして載せております。

予算総括表の一番上の一般会計、黄色の網かけ部分ですが、令和8年度の一般会計予算総額は、347億5,073万7,000円となっており、前年度予算と比較しますと、10億138万6,000円の増額、率でいいますと3.0%の増となっております。

それでは、歳入、歳出の順番で、前年度比較で増減額の大きなものを中心に説明いたします。

2ページをお開きください。歳入の款別内訳を載せております。

まず、1款市税ですが、市税全体としましては、総額95億3,841万1,000円を計上しており、前年度と比較いたしますと、3億8,044万8,000円、4.2%の増となっております。

市税の内訳につきましては、3ページに載せておりますが、国の月例経済報告において景気が緩やかに回復しており、今後も雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されると示されていることなどから、増収を見込んでおります。

主なものといしましては、前年度に比べ、個人市民税で1億7,552万6,000円、4.5%の増、法人市民税で5,044万2,000円、12.5%の増、固定資産税で1億4,570万8,000円、4.1%の増、また、都市計画税で3,528万8,000円、6.6%の増を見込んでおります。

2ページに戻っていただきまして、7款地方消費税交付金でございますが、こちらにつきましては、国の令和8年度地方財政対策を基に算定しており、前年度と比較し2億4,889万4,000円、14.6%の増を見込んでおります。

次に、11款地方交付税でございます。こちらにつきましても国の令和8年度地方財政対策を勘案して算定しておりますが、令和7年度の交付基準額を基に、市税なども踏まえ算出した結果、地方交付税全体としては3億2,000万円、6.3%増で見込んでおります。

次に、15款国庫支出金でございますが、令和7年度にシステム標準化や学校情報機器整備を実施したことなどにより、1億9,701万9,000円、2.6%の減となっております。

次に、16款県支出金でございますが、国が進める小学校給食費の抜本的な負担軽減の開始や扶助費の増などにより、4億8,389万1,000円、18.0%の増となっております。

次に、19款繰入金でございますが、現在の市民ニーズや今後見込まれる財政需要、各基金の残高等のバランスを勘案して各基金からの繰入れを行っており、3億5,412万2,000円、21.2%の減となっております。

次に、22款市債でございますが、令和7年度に小中学校屋内運動場の空調整備を実施したことなどにより、1億3,780万円、6.2%の減となっております。

続きまして、4ページには、歳入予算を自主財源と依存財源に分けまして、その内訳を示しております。

自主財源につきましては、繰入金が減となったものの、市税や寄附金が増となったため、前年度から1億5,080万8,000円の増となっておりますが、それ以上に依存財源の増が大きかったため歳入予算全体に占める割合は40.8%と前年度から減となっております。

また、依存財源につきましては、国庫支出金や市債が減となったものの、地方消費税交付金

や地方交付税、県支出金が増となったため、8億5,057万8,000円の増となっており、歳入予算全体に占める割合は59.2%となっております。

次に、歳出の説明をさせていただきます。

5ページには、歳出の目的別内訳を載せております。

総務費につきましては、令和7年度にシステム標準化や参議院議員通常選挙、市長及び市議会議員選挙、国勢調査を実施したほか、コミュニティバス運営費及び路線バス運行支援費を土木費へ組み換えしたことから、2億3,204万円、5.2%の減となっております。

次に、民生費につきましては、障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費や障がい児通所支援給付費、公定価格の引上げによる教育・保育給付費の増などにより、9億5,814万3,000円、6.5%の増となっております。

次に、土木費につきましては、デマンド交通の運行に係る費用や道路橋梁維持補修に係る工事費が増加したほか、コミュニティバス運営費及び路線バス運行支援費を総務費から組み換えしたことから、2億5,107万円、15.3%の増となっております。

6ページには歳出を性質別に区分した内訳を載せております。

一番上の義務的経費でございますが、扶助費につきましては、障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費や障がい児通所支援給付費、公定価格の引上げによる教育・保育給付費の増などにより、7億8,931万8,000円、8.1%の増、公債費につきましては、市債残高の減に合わせて償還額も減少してきていることから、5,928万5,000円、2.5%の減となっており、全体では9億6,813万6,000円、5.9%の増となっております。

次に、消費的経費でございますが、物件費につきましては、令和7年度にシステム標準化や学校情報機器整備を実施したことから、4億2,251万1,000円、6.6%の減、補助費等につきましては、小学校給食の無償化、中学校給食の10割補助に係る補助金の増などにより、6億206万7,000円、17.0%の増となっており、全体では1億8,090万9,000円、1.8%の増となっております。

次に、投資的経費でございますが、普通建設事業費の補助につきましては、中学校照明器具のLED化や学業院中学校の屋内運動場の改築などにより、3億465万3,000円、18.6%の増、単独につきましては、令和7年度に実施した小中学校屋内運動場の空調整備などにより、6億1,933万3,000円、27.6%の減となっており、全体では3億1,018万円、8.0%の減となっております。

最後に、その他になりますが、繰出金につきましては、介護保険事業や後期高齢者医療に係る事業費増の影響などにより、7,099万7,000円、2.3%の増、投資及び出資金・貸付金につきましては、水道事業出資金の増などにより、8,443万4,000円、42.9%の増となっており、全体では1億6,252万1,000円、4.8%の増となっております。

なお、これ以降、7ページから17ページまでは、「第3期総合戦略における基本目標」及び「新たな一歩 未来につなぐ太宰府 5つの柱」に基づく主な事業の内容について掲載してお

りますが、先ほどの施政方針で市長自ら詳しく述べましたので、ご参照いただければと思います。

以上、簡単ではございますが、私のほうからの説明とさせていただきます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議案第25号 令和8年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 次に、日程第3、議案第25号「令和8年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友添浩一） ご説明申し上げます。

黄色の表紙、令和8年度太宰府市予算書にてご説明させていただきます。予算書は、221ページから257ページまででございます。初めに222ページ、223ページをご覧ください。第1表歳入歳出予算につきましては、歳入歳出それぞれ67億7,799万円を計上しています。

概要につきましてご説明申し上げます。初めに、歳出からご説明いたします。226ページ、227ページ、事項別明細書の1総括の下段、歳出の表をご覧ください。

1款総務費につきましては、1億6,439万4,000円で、前年度と比較して872万6,000円の増となっております。

2款保険給付費につきましては、46億6,969万6,000円で、前年度と比較して1億1,662万5,000円の減となっております。

3款国民健康保険事業費納付金につきましては、17億3,120万7,000円で、前年度と比較して、3,356万円の減となっております。

4款保健事業費につきましては、1億3,862万3,000円で、前年度と比較して、101万7,000円の増となっております。

次に、236ページ、237ページをご覧ください。

1款1項総務管理費につきましては、前年度と比較して、538万円の増となっております。これは、令和7年人事院勧告に伴う人件費の増や福岡県国民健康保険団体連合会に支払う手数料及び負担金の増などによるものであります。

次に、238ページ、239ページをご覧ください。

2項徴税費につきましては、前年度と比較して、341万8,000円の増となっております。これは、令和7年度人事院勧告に伴う会計年度任用職員の人件費の増や、令和8年度からの子ども・子育て支援金制度開始に伴い実施するシステム改修に係る電算委託料の増などによるものであります。

次に、240ページ、241ページをご覧ください。

1 項療養諸費につきましては、5,091万3,000円の減となっております。これは、国保被保険者 1 人当たりの医療費は増加しているものの、ここ数年の後期高齢者医療への移行拡大や、被用者保険の適用拡大により被保険者数が減となったことによるものでございます。

次に、242ページ、243ページをご覧ください。

2 項、高額療養費につきましては、6,291万円の減となっております。こちらも被保険者数が減となったことによるものでございます。

次に、244ページ、245ページ中段をご覧ください。

3 款国民健康保険事業費納付金ですが、これは、福岡県が算定し市に通知された納付金額を計上したものでございます。1 項医療給付分、2 項後期高齢者支援金等分及び246ページ、247ページの3 項介護納付金分がいずれも前年度から減となっております。こちらは、県内全体の被保険者数が減となったことによるものでございます。また、4 項子ども・子育て支援金分につきましては、令和8 年度から施行される子ども・子育て支援金制度の財源として、県を通じて国へ拠出するよう新設されたもので、今回から新たに計上するものであります。

次に、248ページ、249ページをご覧ください。

4 款保健事業費につきまして、1 項特定健康診査等事業費は、90万8,000円の増となっております。これは、令和7 年人事院勧告に伴う会計年度任用職員の人件費の増のほか、P F S（成果連動型民間委託契約方式）を活用した未受診者勧奨業務委託の継続実施などによるものであります。2 項保健事業費につきましては、前年度と比較して、10万9,000円の増となっております。これは、福岡県国民健康保険団体連合会が示す医療費適正化特別対策に係る事務手数料単価の増などによるものであります。

次に、歳入についてご説明いたします。

ページを戻っていただきまして、230ページ、231ページをお願いいたします。

1 款1 項国民健康保険税は、前年度と比較して、3,351万7,000円の増となっております。これは、先ほど歳出のところでご説明いたしましたが、令和8 年度から始まる子ども・子育て支援金制度の財源として、市が県に納める国民健康保険事業費納付金に子ども・子育て支援金分が追加されたことにより、その財源を国民健康保険税として被保険者の皆様から徴収する必要が生じたことによる増で、予算額は福岡県から示された子ども・子育て支援金に係る納付金額及び標準保険税率を基に算定しております。3 款1 項県負担金・補助金につきましては、前年度と比較して、1 億1,619万1,000円の減となっております。これは、歳出の2 款保険給付費の減に伴う普通交付金の減や、特別交付金の保険者努力支援分の減などによるものであります。

232ページ、233ページをお願いいたします。

5 款繰入金につきましては、前年度と比較して、5,786万6,000円の減となっております。これは、保険税軽減額や軽減世帯等の減少に伴う財政安定化支援事業繰入金の減や、出産育児一時金に係る一般会計からの繰入れが令和8 年度より廃止となることに伴う出産育児一時金等繰入金の減などによるものであります。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第26号 令和8年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 日程第4、議案第26号「令和8年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友添浩一） ご説明申し上げます。

予算書は、259ページから277ページまででございます。初めに260ページ、261ページをお願いいたします。第1表歳入歳出予算につきましては、歳入歳出それぞれ18億7,832万円を計上しております。

概要についてご説明申し上げます。初めに、歳出からご説明いたします。262ページ、263ページ、事項別明細書の1総括の下段、歳出の表をご覧ください。

1款総務費につきましては、18億7,421万9,000円で、前年度と比較して1億7,362万3,000円の増となっております。

次に、268ページ、269ページをお願いいたします。

1款1項総務管理費は、前年度と比較して、1億7,153万9,000円の増となっております。これは、令和7年度人事院勧告による職員人件費や、後期高齢者医療被保険者の増、令和8、9年度保険料の引上げの影響に伴う負担金の増によるものであります。

1款2項徴収費は、208万4,000円の増となっております。これは令和8年度から施行される子ども・子育て支援事業に係る電算委託料を新たに計上したことによるものであります。

次に、歳入をご説明いたします。予算書の264ページ、265ページをお願いいたします。

1款保険料は、前年度と比較して、1億2,392万1,000円の増となっております。

3款繰入金は、前年度と比較して、4,955万2,000円の増となっております。

後期高齢者医療特別会計全体の増の要因につきましては、後期高齢者医療制度の被保険者数の増加や、高齢化の進行による医療費負担の増を踏まえ、令和8年度に県の後期高齢者医療保険料が増額改定となることによるものであります。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議案第27号 令和8年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 次に、日程第5、議案第27号「令和8年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（大谷賢治） それでは、ご説明申し上げます。

予算書は、279ページから342ページまでをご参照ください。

まず初めに、280ページから282ページをご覧ください。

第1表保険事業勘定に、歳入歳出予算総額69億3,583万3,000円を、続きまして、283ページの第2表介護サービス事業勘定に、歳入歳出予算総額8,139万3,000円を計上しております。

詳細につきましては、事業勘定ごとに事項別明細書にてご説明申し上げます。285ページから287ページをご覧ください。

まず、保険事業勘定の概要でございますが、当初予算額は、歳入歳出ともに前年度と比較して、4億3,362万1,000円、率にいたしますと6.7%の増となっております。

初めに、歳出からご説明いたします。296ページ、297ページをご覧ください。

1款1項総務管理費ですが、1億6,479万1,000円を計上させていただいております。前年度と比較して898万2,000円、率にして5.8%の増となっております。主な要因は、介護保険法改正等の対応のための介護保険システム改修委託料が増となっております。また、高齢者の人権擁護をさらに強化していくため、高齢者虐待対応事業委託料として新たに11万9,000円を計上いたしております。

続きまして、2項徴収費は、977万7,000円を計上させていただいております。前年度と比較して213万1,000円、率にして27.9%の増となっております。主な要因は、システム標準化に伴う郵便料等の増でございます。

次に、3項介護認定審査会費におきましては、9,188万2,000円を計上させていただいております。前年度と比較して750万4,000円、率にして7.6%の減となっております。主な要因は、筑紫地区介護認定審査会負担金について、5年に一度のシステム機器更新が終了し、減となっております。

次に、2款保険給付費でございます。予算書のほうは、300ページ下段の2款1項介護サービス等諸費から311ページの6項特定入所者介護サービス等費まででございます。

2款保険給付費の合計額は、286ページにお示ししておりますが、62億8,315万1,000円で、前年度と比較して、4億1,587万9,000円、率にして7.1%の増となっております。

保険給付費につきましては、高齢化の進展に伴い急速に増加しているため、前年度の伸び率等から算出しているところでございます。

主な要因といたしまして、300ページから304ページの1項介護サービス等諸費が、前年度と比較いたしまして3億9,531万7,000円、率にして7.4%の増、304ページから307ページ、2項介護予防サービス等諸費につきましては、前年度と比較いたしまして1,867万5,000円、率にして7.7%の増となっております。

続きまして、3款地域支援事業費でございます。予算書は、312ページ3款1項サービス・活動事業費から321ページ中段の4項その他諸費までをご覧ください。

この事業費は、高齢者が要介護状態等になることを予防し、たとえ要介護状態等になった場合でも、可能な限り地域において自立した日常生活を送ることができるよう支援するための事業費となっております。

地域支援事業費の合計額は、286ページにもお示ししておりますが、3億6,784万4,000円で、前年度と比較いたしまして、1,461万1,000円、率にして4.1%の増となっております。

詳細につきましてですが、312ページ、313ページをご覧ください。

1項サービス・活動事業費が、前年度と比較いたしまして763万2,000円、率にして5.1%の増となっております。主な要因といたしましては、通所型サービス事業費が、昨年度と比較して720万円の増となっており、高齢化に伴う利用者の増を見込んだものでございます。

次に、312ページ下段の2項一般介護予防事業費におきましては、前年度並みの予算を計上いたしております。

次に、314ページから321ページの3項包括的支援事業・任意事業費につきましては、前年度と比較いたしまして736万円、率にして4.4%の増となっております。主な要因といたしましては、地域包括支援センターに勤務する保健師、社会福祉士や認知症地域支援推進員などの人件費で、人事院勧告に基づく給与改定等による人件費の増でございます。

次に、320ページから323ページをご覧ください。

4款諸支出金につきましては、322ページ、323ページの2項繰入金が1,239万3,000円で、前年度と比較いたしまして117万2,000円の減となっております。

次に、5款基金積立金につきましては133万8,000円で、前年度と比較いたしまして55万6,000円の増となっております。

6款予備費につきましては、前年度と比較いたしまして増減はございません。

次に、保険事業勘定の歳入についてご説明いたします。288ページ、289ページをご覧ください。

1款保険料は、収入見込実績や調定額等で計算し、前年度と比較いたしまして1,807万円、率にして1.3%の減となっております。

3款国庫支出金、4款支払基金交付金、5款県支出金は、主に歳出予算の保険給付費が増となったことにより、公費負担分である歳入予算も併せて増となっております。

次に、7款繰入金でございます。292ページから295ページをご覧ください。

1項一般会計繰入金は、前年度と比較いたしまして4,576万2,000円、率にして4.3%の増となっております。主な要因は、保険給付費の増により介護給付費繰入金の市の法定割合分が増、その他の一般会計繰入金は標準化補助金の終了等により減となっております。

次に、2項基金繰入金は、給付費の増を見込み前年度と比較いたしまして1億2,000万円の増としております。

保険事業勘定につきましては、以上でございます。

続きまして、介護サービス事業勘定でございます。331ページから333ページをご覧ください。

介護サービス事業勘定につきましては、前年度と比較いたしまして280万8,000円、率にして3.6%の増となっております。

初めに、歳出からご説明いたします。336ページ、337ページをご覧ください。

1款1項施設管理費でございますが、前年度と比較して280万8,000円の増となっております。主な要因といたしましては、地域包括支援センターに勤務する介護支援専門員の人件費で、人事院勧告に基づく給与改定等による人件費の増でございます。

次に、歳入についてご説明いたします。334ページ、335ページをご覧ください。

歳入の主なものといたしまして、1款サービス収入費につきましては、介護予防サービス計画費収入として前年度比46万4,000円、率にいたしますと1.1%の増、4,369万9,000円を計上しております。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第28号 令和8年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 次に、日程第6、議案第28号「令和8年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友添浩一） ご説明いたします。

予算書は343ページから353ページでございます。初めに、予算書の346ページをお願いいたします。歳入歳出予算総額は26万1,000円で、前年度当初予算と比較しますと21万1,000円の減となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、ご説明いたします。予算書の348ページ、349ページをお願いいたします。

1款財産収入につきましては、前年度比6万2,000円増の25万2,000円を計上しております。増額の主な要因は、基金の運用収入増によるものでございます。

なお、350ページ、繰入金につきましては、一般会計からの繰入を行わないため廃款するものでございます。

次に、歳出の主なものにつきまして、ご説明いたします。予算書352ページ、353ページをお願いいたします。

1款総務費につきましては、前年度比26万4,000円減の9,000円を計上しております。減額の主な要因は、弁護士等委託料の減額でございます。

2款基金積立金につきましては、前年度比5万3,000円増の25万2,000円を計上しております。増額の主な要因は、先ほど歳入にてご説明申し上げた基金運用収入の増を見込むことにより基金への積立額が増えるものでございます。

貸付金の償還向上につきましては、今後も、関係機関とも協議の上、個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整や契約弁護士と相談を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第29号 令和8年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 次に、日程第7、議案第29号「令和8年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（大谷賢治） それでは、ご説明申し上げます。

予算書は355ページをご覧ください。

まず、筑紫地区介護認定審査会につきましては、筑紫地区5市で共同設置をしております介護保険法第14条の規定に基づく要介護認定に関する審査会でございます。審査会の庶務につきましては、筑紫地区介護認定審査会の共同設置に関する規約第3条第2項の規定に基づき、令和7年度からの2年間、太宰府市が担当することから、本市の予算として特別会計を設置し計上するものでございます。

それでは、356ページ、357ページをご覧ください。

第1表歳入歳出予算についてですが、歳入歳出それぞれに予算総額1億797万9,000円を計上いたしております。

詳細につきましては、事項別明細書にて説明をいたします。

まず初めに、歳出予算からですが、362ページから365ページをご覧ください。

1款総務費の1項総務管理費5,339万5,000円でございますが、会計年度任用職員の人件費や介護認定支援システムの電算委託料、また、法改正等に伴うシステム改修委託料などの事務費でございまして、前年度と比較いたしますと3,832万4,000円の減となっております。主な要因は、5年に一度のシステム機器更新が終了したことによるものでございます。

次に2項認定審査会費は、認定審査会委員の報酬でございまして、前年度と比較して47万6,000円の減となっております。要因としましては、暦の都合による審査会回数の減や、欠員補充のために待機をいただいている委員数の減によるものでございます。

次に、歳入でございます。予算書の360ページ、361ページをご覧ください。歳出予算の減額に伴いまして、歳入予算も合わせて減額となっております。

1款分担金及び負担金につきましては、1項認定審査会負担金に、構成市であります筑紫地区5市からの負担金1億797万9,000円を計上しております。

なお、令和7年度は筑紫地区障害支援区分等審査会と専用回線を共用しているに伴い負

担金を計上しておりましたが、システムの標準化により令和8年度からは廃止となりますので、皆減となっております。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議案第30号 令和8年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 次に、日程第8、議案第30号「令和8年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（併公営企業担当）（伊藤健一） それでは、ご説明いたします。

水色の表紙の水道事業会計予算書、1ページをお願いいたします。

第2条の業務の予定量につきましては、給水戸数2万7,583戸、年間総給水量591万1,905m<sup>3</sup>を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出につきましては、収入を14億6,957万4,000円、支出を14億4,210万1,000円といたしております。

第4条の資本的収入及び支出につきましては、収入を4億1,424万5,000円、支出を8億7,520万8,000円としております。

次に、4ページをお願いいたします。主な収支事項をご説明いたします。

収益的収入の1款1項1目給水収益につきましては、前年度に比べ134万7,000円の増となる12億5,407万7,000円を見込んでおります。

次に、2項2目の加入負担金につきましては、大規模な開発等が見込まれないことから392万7,000円の減を見込んでおります。

5ページをご覧ください。収益的支出の1款1項1目原水及び浄水費の増につきましては、物価高騰の影響や、福岡地区水道企業団の受水費の減免が終了となったことなどが主な要因となっております。2目配水及び給水費の増につきましては、漏水調査委託料が主な要因となっております。

6ページをお願いいたします。一番下、4目総係費の減につきましては、職員給与関係費の減が主な要因となっております。

8ページをお願いいたします。5目減価償却費の増につきましては、令和7年度に実施している建設改良事業の減価償却が開始されることによるものです。中段の、2項1目支払利息及び企業債取扱諸費の増につきましては、借入利率の上昇が主な要因となっております。

9ページをご覧ください。

資本的収入の1款1項1目建設企業債につきましては、配水管布設替工事等に充てるため2億2,000万円を計上しております。

3項1目出資金につきましては、配水管の耐震化促進のため、国の繰出基準に基づき、一般会計から繰入れを行うもので、1億2,010万円を計上しております。

4項1目工事負担金につきましては、雨水管渠築造工事に係る配水管布設替工事等の負担金を計上しております。

10ページをお願いいたします。資本的支出の1款1項2目浄水施設費につきましては、浄水場ポンプ取替え工事などに要する経費を計上しております。3目配水施設費につきましては、配水管布設替工事や水城配水池更新工事などに要する経費を計上しております。

以下、12ページ以降につきましては、財務諸表等を添付いたしております。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第9 議案第31号 令和8年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（神武 綾委員） 次に、日程第9、議案第31号「令和8年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について、概要の説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（併公営企業担当）（伊藤健一） それでは、ご説明申し上げます。

黄色の表紙の下水道事業会計予算書、こちらの1ページをお願いいたします。

第2条の業務の予定量につきましては、排水戸数を3万2,612戸、年間総排水量756万4,990m<sup>3</sup>を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出につきましては、収入を18億2,864万円、支出を15億660万1,000円といたしております。

第4条の資本的収入及び支出につきましては、収入を6億9,408万5,000円、支出を14億868万7,000円といたしております。

4ページをお願いいたします。主な収支事項をご説明いたします。

収益的収入の1款1項1目下水道使用料につきましては、前年度に比べ693万1,000円の減となる11億4,418万1,000円を見込んでおります。

次に、2目他会計負担金9,180万円及び2項2目他会計補助金2億8,606万円につきましては、国の繰出基準に基づき、一般会計から繰入れを行うものでございます。

5ページをご覧ください。1款1項1目管きよ費の増につきましては、管きよ等の補修費の増額が主な要因となっております。2目流域下水道維持管理費につきましては、令和7年度の汚水量の見込み等から令和8年度も減少すると見込んでおります。3目業務費の増につきましては、水道事業会計への徴収事務委託料の増が主な要因となっております。4目総係費の減につきましては、職員給与関係費の減が主な要因となっております。

7ページをお願いいたします。中段の、2項1目支払利息及び企業債取扱諸費の減につま

しては、償還のピークを過ぎていることが要因で、今後も減少していくものと見込んでおります。

8ページをお願いいたします。資本的収入ですが、対象事業費の増により1項企業債及び2項国庫補助金が増となっております。

9ページをご覧ください。資本的支出の1款1項1目公共下水道整備費の増につきましては、工事請負費などの影響が主な要因となっております。

10ページをお願いいたします。2項企業債償還金につきましては、支払利息と同様に、償還のピークを過ぎていることから減となっており、今後も減少していく見込みとなっております。

以下、11ページ以降につきましては、財務諸表等を添付いたしております。

説明は以上でございます。

○委員長（神武 綾委員） 説明は終わりました。

質疑は3月16日及び3月17日の予算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（神武 綾委員） 本日はこれもちまして散会いたします。

散会 午後0時18分

~~~~~ ○ ~~~~~